

令和元年6月13日定例教授会議事抄録

出席者

榊屋所長

青山、池本、板倉、大木、黒田、小寺、佐藤、菅、園田、高橋、高見澤、中島、名和、馬場、平勢、真鍋、森本、安富の各教授

秋葉、池亀、上原、蔵本、佐橋、鍾、塚本、古井、米野の各准教授

海外渡航者

松田教授

議事

5月16日開催の定例教授会の議事抄録を承認した。

通知事項

1. 教員等の公募 資料P6のとおり1件
2. 各種研究助成等の募集について 資料P7のとおり4件

報告事項

3. 所長報告

榊屋所長より、以下の会議等について報告があった。

1) 科所長会議（5月28日）

① 東京大学喫煙対策実施要領の一部改正

資料P9に基づき、東京大学喫煙対策実施要領の一部改正について報告があった。

② 全学共通経費による基盤的学術雑誌等整備（第4期）の対象資料に係る調査の実施報告

資料P10～11に基づき、全学共通経費による基盤的学術雑誌等整備（第4期）の対象資料に係る調査の実施について報告があった。

③ 民間企業等との共同研究契約等における研究支援経費

資料P12～16に基づき、民間企業等との共同研究契約等における研究支援経費について説明があった。

④ 安全保障輸出管理に関する徹底

資料P17～18に基づき、安全保障輸出管理に関する徹底について報告があった。

⑤ 2019年度夏季の休業状態実施方針

佐納事務長より、資料P19～22に基づき、大学の方針を受け当研究所も夏季の休業状態を実施すること、実施日は本部と同じ8月13日（火）、14日（水）の2日間とすることとした旨報告があった。

また、改正労働基準法の施行により、年5日の年次有給休暇を取っていただきたいとの要請と、今年度新設されたリフレッシュ休暇は年次有給休暇に含まれないとの注意喚起があった。

- ⑥ 利益相反事例集の作成と利益相反マネジメント研修会の開催案内
資料P 23～24に基づき、利益相反事例集の作成と利益相反マネジメント研修会の開催案内について説明があった。
- ⑦ 配付資料「学際知の俯瞰力」に基づき、教養学部創立70周年記念シンポジウム「学際知の俯瞰力」について、7月7日（日）に開催予定である旨案内があった。
- 2) 評価委員会（6月4日）
資料P 27～36に基づき、東京大学の教員評価制度に関するメタ評価報告書について報告があった。
- 3) 科所長会議（6月4日）
- ① 東京大学事業化推進助成制度（東京大学 GAP ファンドプログラム）第四期及び増額公募
資料P 38～44に基づき、東京大学事業化推進助成制度（東京大学 GAP ファンドプログラム）第四期及び増額公募について説明があった。
- ② 第18回ホームカミングデイ
資料P 45に基づき、10月19日（土）に開催予定の第18回ホームカミングデイについて、説明があり、当研究所では公開講座を実施する予定であるため協力願いたいとの要請があった。
- ③ 東京カレッジ講演会の案内
資料P 46～49に基づき、東京カレッジ講演会の案内について報告があった。
- ④ 「宇佐見圭司《きずな》から出発して」シンポジウム報告書
「宇佐見圭司《きずな》から出発して」シンポジウム報告書について説明があった。
- ⑤ 社会科学研究所サマーセミナー
資料P 50に基づき、8月8日（木）に開催予定の社会科学研究所サマーセミナーについて案内があった。
- ⑥ TIA かけはし 成果報告会
資料P 51～52に基づき、TIA かけはし 成果報告会について案内があった。
- 4) 予算委員会（6月4日）
資料P 53～73に基づき、同会議での議事概要について説明があり、教員採用可能数再配分に関しては不採択となった旨報告があった。
- 5) 第78回国立大学附置研究所・センター会議総会（5月23日～24日）
- ① 今年度の常置委員会第3部会委員であること、このことにより第3部会の部長としてシンポジウムを10月18日（金）に開催するので、講師となる教員に協力要請があった。
- ② 第3部会では、第6期科学技術基本計画に向けた附置研・センターの意見表明及び共同利用・共同研究拠点事業中間評価について議論されたとの報告があった。
- 6) 全学自由研究ゼミナールの担当教員について
資料P 74に基づき、全学自由研究ゼミナールの担当教員について説明があった。
- 7) 教員の海外渡航について（報告）
資料P 75～76に基づき、6件を承認した旨報告があった。
- 8) 委員等・非常勤講師の応嘱について

資料P 77～78のとおり委員等2件、非常勤講師等1件を承認した旨報告があった。

9) その他

① 本日17時から、1階ロビーにおいてネットワーキングアジアが開催される旨の周知があった。

② 小寺教授より、ASNETの現状について説明があり、今後の運営について検討するためワーキンググループを立ち上げる旨報告があった。

4. 各委員会報告

1) 財務委員会

特になし。

2) インフラ委員会

安富委員長より、

① ポンプ修理工事を実施した旨報告があった。

② 本所建物外観の撮影は問題ないが、建物に入る映像（動画）については、入口が自動扉であり防犯上の理由から撮影をしないよう要請があった。

③ 入退館システムについて不具合があるため新たにシステムの導入について検討している旨報告があった。

3) 情報・広報委員会

秋葉委員より、今年度のホームカミングデイ（10/19（土））公開講座について、秋葉准教授と米野准教授が担当する旨報告があった。

4) 研究企画委員会

① 青山委員長より、資料P 79に基づき、2020年度以降 刊行予定者について報告があった。

② 藏本委員より、資料P 80に基づき、2019年度の定例研究会の発表予定者について報告があった。

5) 図書委員会

大木委員長代理より

① 金沢文庫展示資料について資料搬出を6月27日に行う旨説明があった。

② 加納啓良名誉教授所蔵本の寄贈について受け入れる旨報告があった。

③ アジア研究図書館の漢籍について総合図書館、人文社会科学研究所と打合せを行った。今後資料の移動、貸出し条件等の検討も予定される旨説明があった。

6) 東洋学研究情報センター委員会

平勢委員長より、回覧資料に基づき、金沢文庫からのセンター所蔵品の出陳依頼について報告があった。

7) GJS委員会

園田委員長より、

① 7月1日に講義とグループワーク、7月2日から9日までの授業（午前）は、佐藤教授、佐橋准教授、鍾准教授、その他の教員が担当し午後はフィールドトリップが実施される旨報告があった。

② 7月11日午後から留学生を含む学生グループの研究成果発表会が開催される旨報告があった。

8) EAA委員会

特になし。

9) その他

名和環境安全管理室長より、

① 5月15日に実施した産業医職場巡視・部局長パトロール結果について概要は5月16日教授会にて報告済みであるが、正式に指摘事項が届いたので該当の研究室等に送付した対応依頼メールのとおりご協力いただきたい旨説明があった。

② 2019年度ストレスチェックの実施について平成27年度以降毎年、年1回実施しており、本年度は7月4日(木)から7月31日(水)の期間で実施すること、また、正式な通知等がポータルに掲載され次第、担当より依頼するので受検していただきたい旨協力要請があった。

5. その他

① 板倉教授より、金沢文庫展示のチケット及びチラシの配付について説明があり、関係者へ周知していただきたい旨依頼があった。

② 佐納事務長より、資料P83～85に基づき、窓枠他改修工事の工程表について説明があった。

審議事項

6. 教員の海外渡航について

資料P86～88のとおり9件が承認された。

このことに関連し柵屋所長より、資料P89～90に基づき、危険情報発出地域への渡航について説明があり、レベル3以上については原則渡航の許可はしないのでご注意願いたいとの要請があった。

7. 訪問研究員の受け入れについて

該当教員より説明があり、資料P92～94のとおり6件の受け入れが承認された。

8. 私学研修員の受け入れについて

該当教員より、資料P95～96に基づき説明があり、1件の受け入れが承認された。

9. 研究協力者の申請について

青山研究企画委員長及び菅教授より、資料P97および回覧資料に基づき説明があり、承認された。

10. 中央研究院社会学研究所との部局国際交流協定の更新について

園田教授より、資料P98～102に基づき、中央研究院社会学研究所との部局国際交流協定を更新することについて提案があり、交流担当教員を研究企画委員長に修正することが確認され、承認された。

11. インドネシア大学との全学国際交流協定の更新について

青山教授より、資料P103～105に基づき、インドネシア大学との全学国際交流協定を更新することについて提案があり、承認された。

12. アジア国際研究イニシアティブの形成について

青山研究企画委員長より、資料P 1 0 6に基づき説明があり、議論した結果、引き続き研究企画委員会にて検討していくこととなった。

13. 2018 年度決算について

高橋財務委員長から、資料P 1 0 7～1 1 3に基づき、前回教授会より修正等がない旨説明があり、承認された。

14. 2019 年度予算配分案について

高橋財務委員長から、資料P 1 1 4～1 1 6に基づき説明があり、一部留学生経費について修正のうえ、承認された。

15. その他

特になし

以上